



第61号 ほがらか 通信



令和3年2月発行 保土ヶ谷区育児支援センター園
天王町保育園・神戸保育園

毎日厳しい寒さが続き、春の訪れが待ち遠しいですね。寒い日にも暖かい日中は外に出かけたり、太陽の光を浴びながら体を動かし、心も体も健康に過ごしましょう！



2月の節分には豆まき、3月のひな祭りにはひな人形を飾るといった伝統行事があります。なぜ豆まきをしたりひな人形を飾ったりするのでしょうか？由来がわかると親子で楽しい時間を過ごすことができるのではないかと思います。（由来には諸説あります）



節分 せつぶん



春、夏、秋、冬の季節のはじまりの日を立春、立夏、立秋、立冬とよんでいます。その前日を季節のかわる節目という意味で節分といいます。昔の農業に携わって暮らしていた人たちは、草木が芽を出す春を待ち望んでいたのです。立春の前の日のことを節分というようになりました。



どうして豆をまくの？



豆には雨風や日照りに負けずに1年間をのりこえた、みのりの力がこもっているのです。悪魔などを追い払うのにもちいられたといわれています。

※消費者庁では、奥歯が生えそろわず、かみ砕く力や飲み込む力が十分ではない子どもが豆やナッツ類を食べると、のどや気管に詰まらせて窒息してしまったり、肺炎を起こしたりするリスクがあり、窒息、誤嚥事故防止のために、豆やナッツ類など、硬くてかみ砕く必要のある食品は5歳以下の子どもには食べさせないように注意しています。



鬼の角の由来はなんでしょう？



昔は方角を十二支で表しました。北東は鬼がやってくる縁起の悪い方角と考えられていました。北東は丑寅（うしとら）の方角になるので、鬼はウシの角とトラの牙をもち、トラ模様のパンツをはいているイメージになったといわれています。

節分にまつわる歌

🌸『豆まき』 ♪おにはそと ふくはうち～

かわいくて、楽しくて、優しい鬼もいるよ！



中川ひろたか・文
村上康成・絵
童心社



富安陽子・文
大島妙子・絵
福音館



はまだひろすけ・文
いけだたつお・絵
偕成社



かこ さとし文・絵
小峰書店



おひなさま(桃の節句)



日本では紙で作った人形や小さなおもちゃなどを「ひいな」と呼んでまごごのような「ひいなあそび」をしていました。

中国では3月3日に水辺で体をきよめ、病気を追い払う「上巳の節句」のならわしが日本に伝わり、体のけがや病気をふせぐ行事になりました。



昔は病気で命を落とすことが多かったので、病気にならないように枕元に人形を置いたり病気になった時は、紙で作った人形で体をさすったりして自分の病気をやがれを人形にうつして川や海に流しました。



人形を家に飾って女の子の成長を願い、祝うようになりました。



桃の節句となぜいうの？



桃には魔除けの力があると考えられていて、旧暦の3月3日頃は桃の花が咲く季節であるといわれるからです。



ひし餅の色は何をあらわしているの？



桃色は花、白は雪、緑は草。雪が溶けて草が生え花が咲く様子。つまり「春」を表しているといわれています。

おひなさまにまつわる歌

🌸『うれしいひなまつり』

♪あかりをつけましょ ぼんぼりに～

【参考文献】

「こどもの行事しぜんと生活」「こどもの行事しぜんと生活
2月のまき」 3月のまき」

